

上代文学の研究

研究キーワード



- 上代文学
- 万葉集
- 古事記・日本書紀

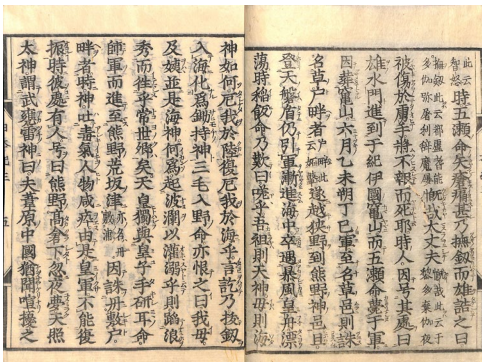
連携アピール



■三重県には上代文学と関わる故地が多くあります。古事記・日本書紀では、神話や神武天皇東征・日本武尊（倭建命）などの話の舞台でもあります。万葉集では、大伯皇女・柿本人麻呂・聖武天皇・大伴家持をはじめ多くの歌が残ります。作品の理解を深めながら、その土地の魅力を発信することができればと思います。

本研究の概要

- 私の主たる研究は訓詁・注釈を通じた上代文学作品の理解です。万葉集・古事記・日本書紀などの古典ではその原本は存在せず、写本・版本しか残っていません。その中で諸本を比較検討しながら正しい本文と訓、解釈を導き出すことを行っています。上位文学作品には三重県の各地も登場します。作品の読解を通して、郷土への理解も深めることができればと思います。



研究者



大島 信生（おおしま のぶお）
文学部国文学科 教授 研究開発推進センター長

